

第7章 青少年の意識

第7章 青少年の意識

1 青少年の意識に関する調査について

県の施策を推進し、県民の自主的活動の有効な展開を図るためには、青少年問題に関する県民の理解と市町村等関係機関の協力が必要である。

このため、県では、本県の青少年の意識の現状や将来展望・社会との関わりなどについて、青森県青少年健全育成条例に基づく青少年行政基礎調査事業の一つとして「青少年の意識に関する調査」を隔年で実施し、その結果を県民に明らかにするとともに、市町村等関係機関に情報提供している。

(1) 調査の目的

本県における青少年の意識や行動を把握し、青少年に関する施策の総合的な推進のための基礎資料を得るとともに、広く県民に紹介することにより、青少年の健全育成に対する理解と協力を得る。

(2) 調査の方法

質問紙による無記名集団調査

(3) 調査の対象

県内の小学校6年生	405人（15校）
県内の中学校2年生	429人（14校）
県内の高等学校2年生	407人（12校）
合計	1,241人（41校）

(4) 調査の実施期間

平成28年8月から平成28年9月

(5) 調査項目

- ア 地域のこと
- イ 世の中のこと
- ウ 学校のこと
- エ 家族・家庭のこと
- オ 自分のこと
- カ メディア・コミュニケーションのこと
- キ 読書のこと
- ク 生活規範に対する意識
- ケ 社会変化に対する意識
- コ 就労に関する意識

(6) 調査実施主体

青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課

(7) 調査の監修及び調査結果の分析

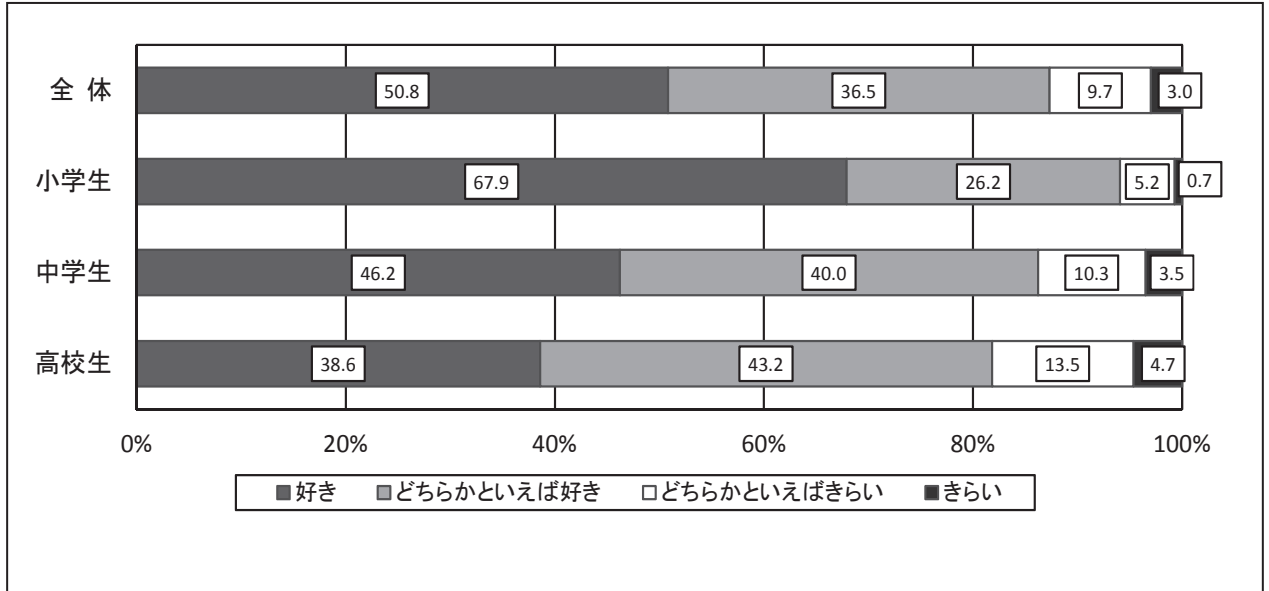
弘前大学教育学部 教授 宮崎 秀一 氏

2 結果概要

(1) 地域のこと

自分が住んでいる地域が好きかどうか尋ねたところ、全体では、87.3%が「好き」と回答している。

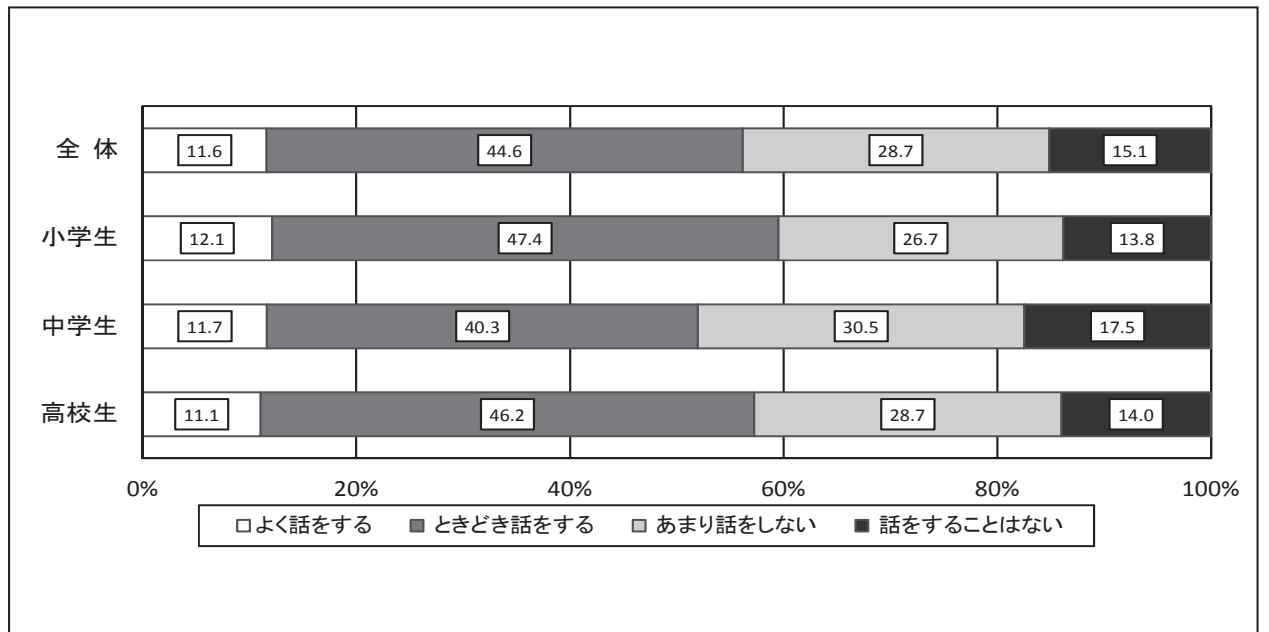
第1-7-1表 住んでいる地域への評価



(2) 世の中のこと

政治問題や社会的事件について家族や友だちなどと話をするか尋ねたところ、全体では、56.2%が「話をする」と回答している。

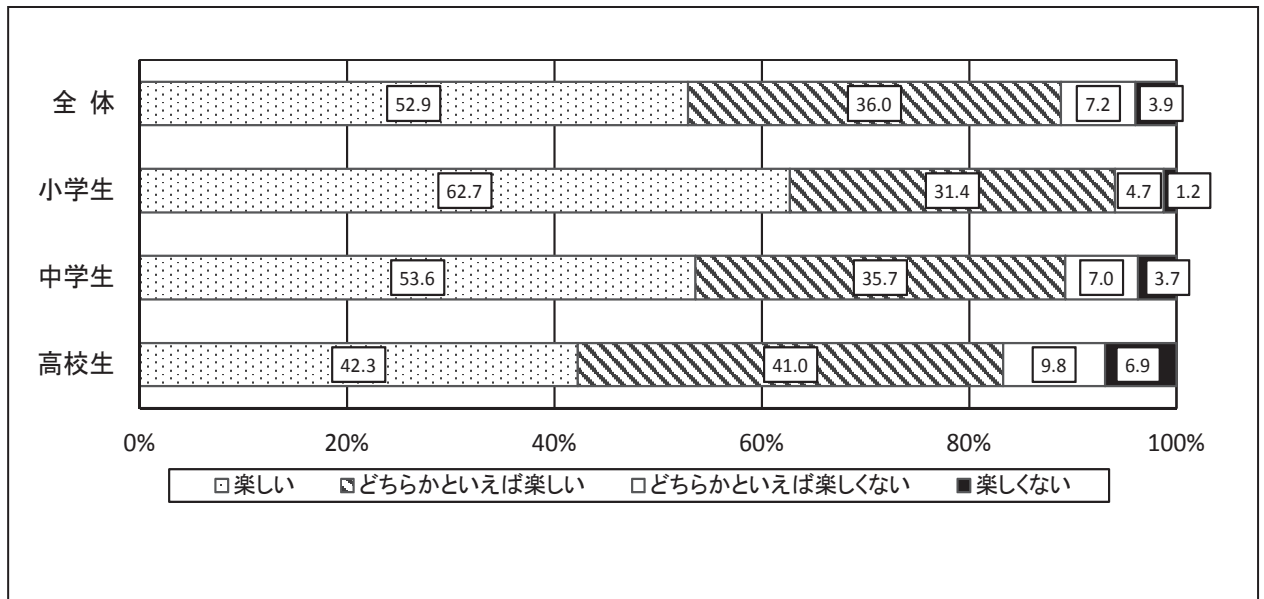
第1-7-2表 世の中の出来事についての会話



(3) 学校のこと

学校生活が楽しいかどうか尋ねたところ、全体では、88.9%が「楽しい」と回答している。

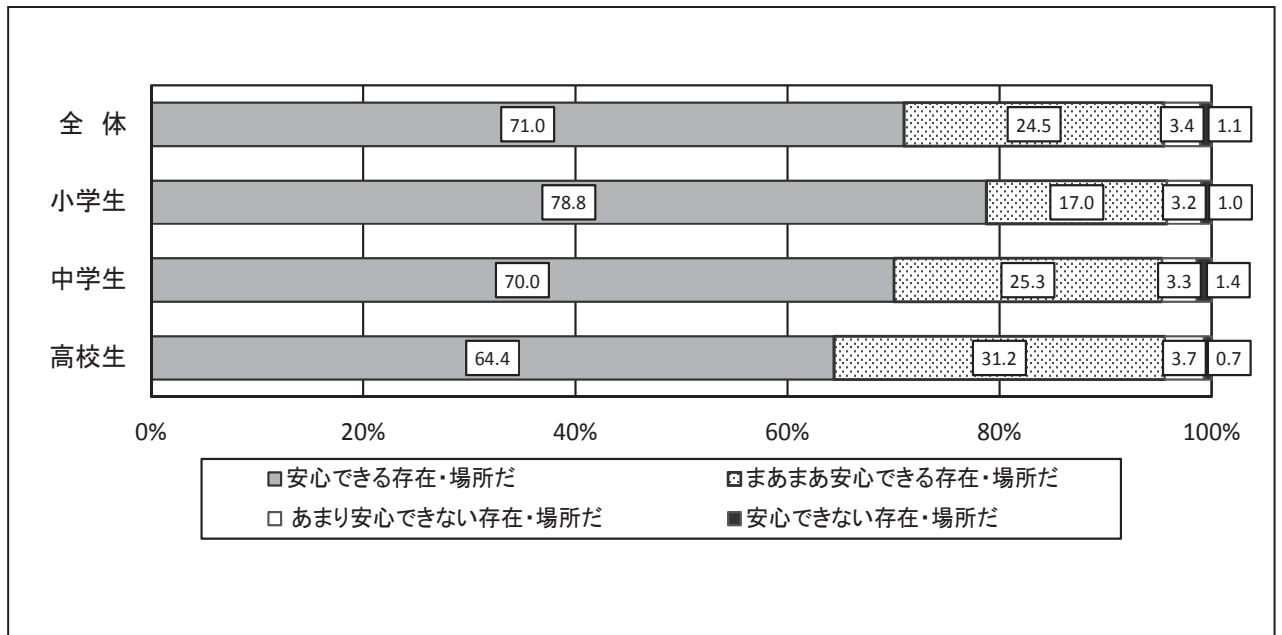
第1-7-3表 学校生活への満足度



(4) 家族・家庭のこと

家族・家庭が安心できる存在・場所かどうか尋ねたところ、全体では、95.5%が「安心できる存在・場所だ」と回答している。

第1-7-4表 家族がいる家への評価

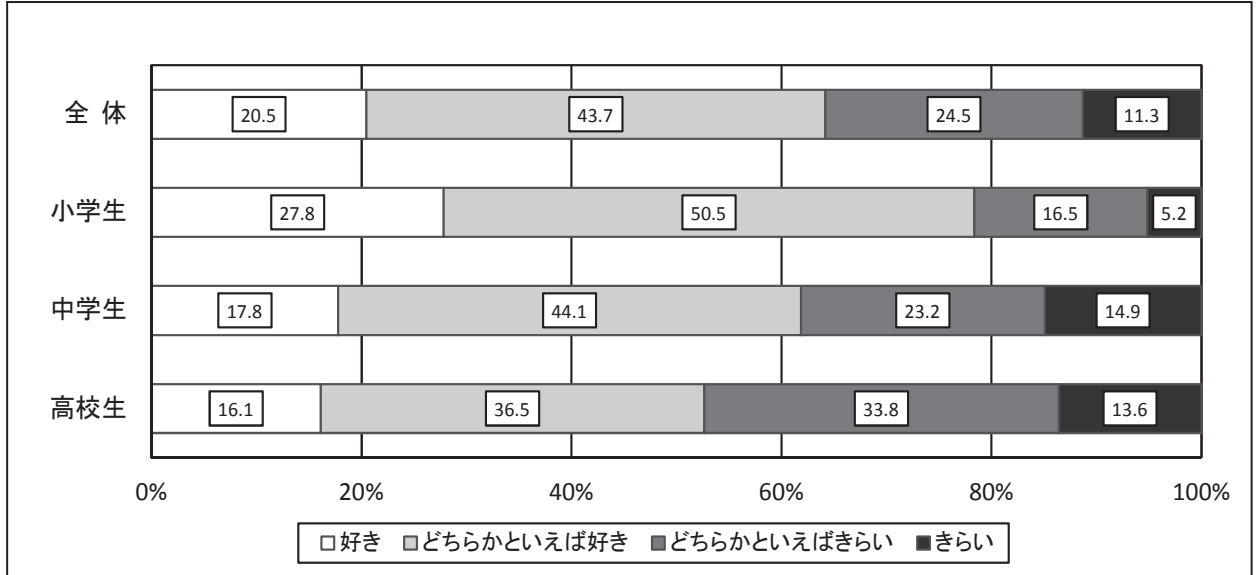


(5) 自分のこと

ア 自己への評価

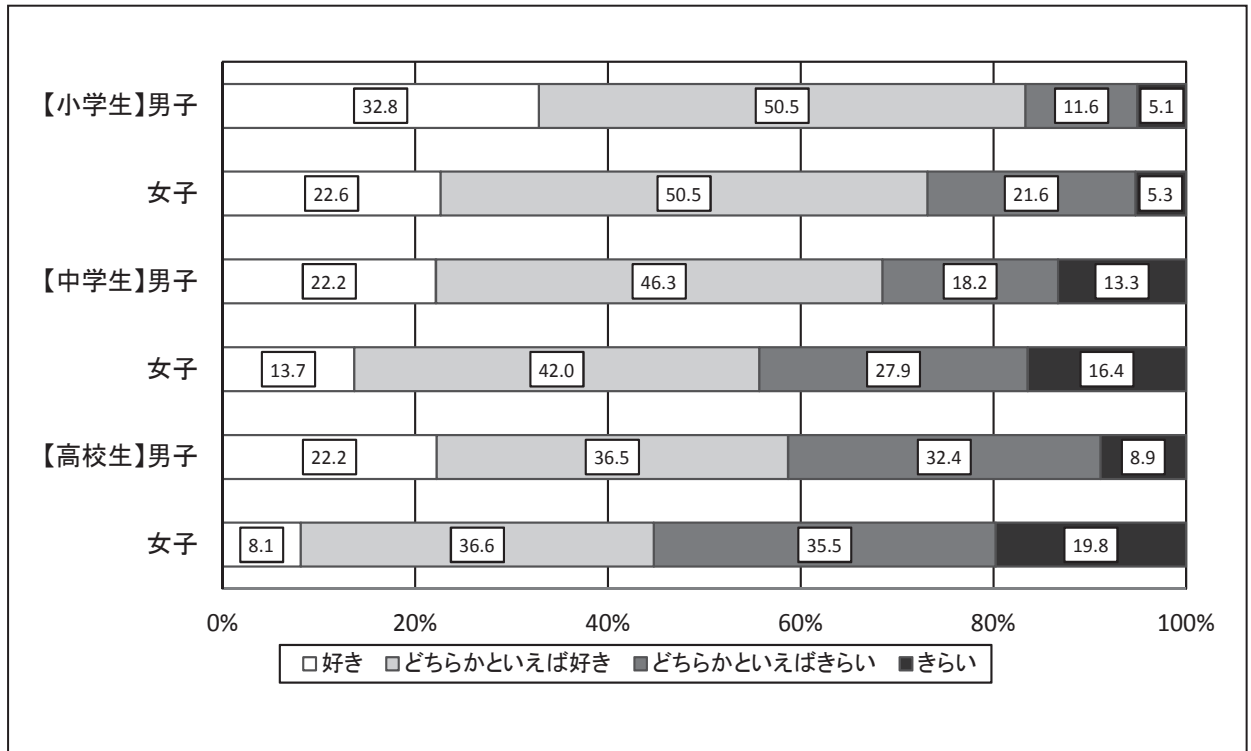
自分のことが好きかどうか尋ねたところ、全体では、64.2%が自分のことを「好き」と回答している。また、「好き」と回答した割合は、小学生、中学生、高校生と、成長につれて低下している。

第1-7-5表 自己への評価（学校種別集計結果）



また、男女別に比較したところ、小学生、中学生、高校生のいずれも、男子のほうが女子よりも「好き」と回答している割合が高い。

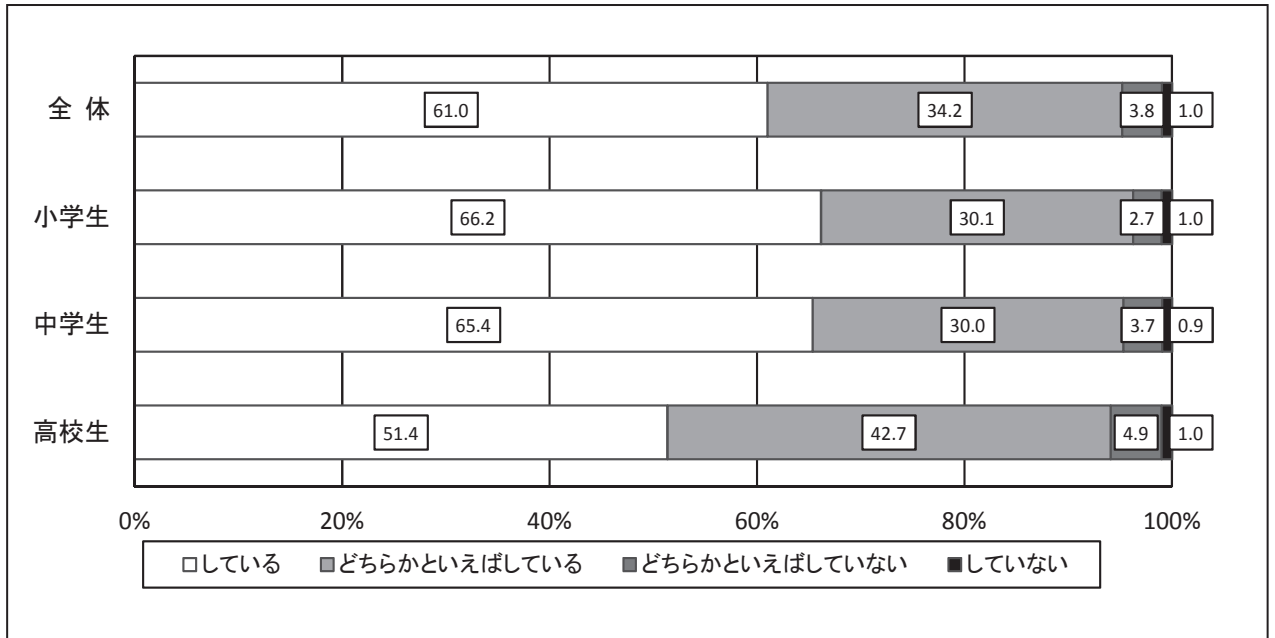
第1-7-6表 自分への評価（属性別集計結果）



イ 他人への思いやり

他人を大切にしているかどうかを尋ねたところ、全体では、95.2%が「大切にしている」と回答している。

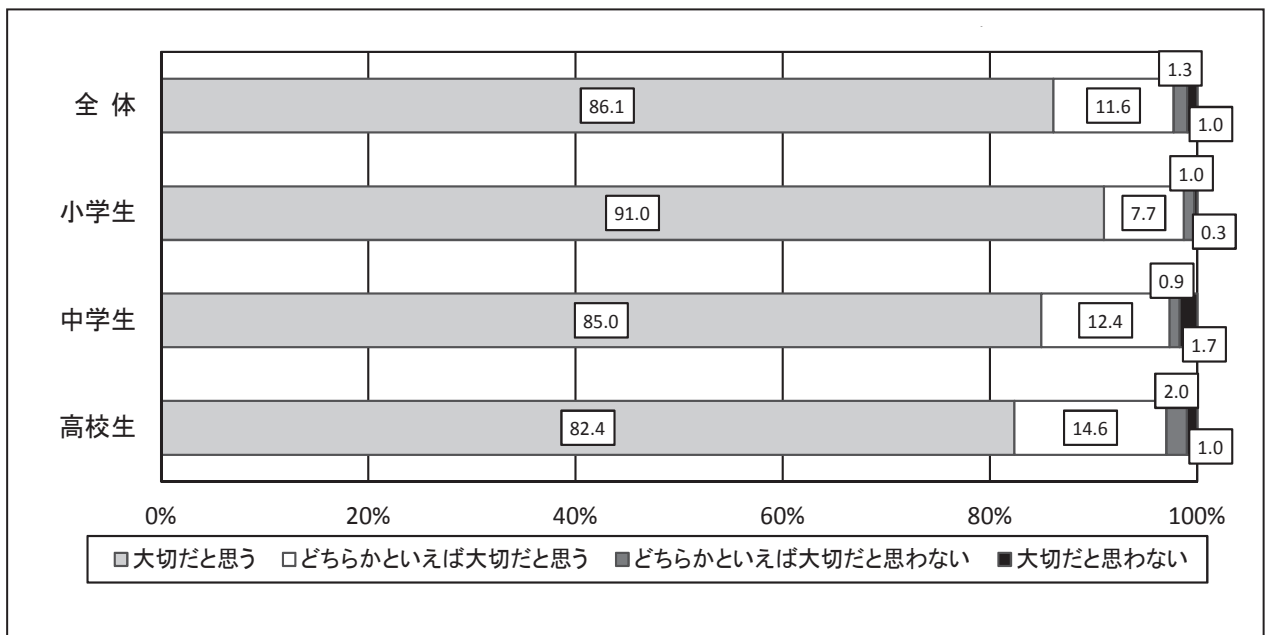
第1-7-7表 他人を大切にしているか



ウ 命について

自分や他人の命をどう思うかについて尋ねたところ、全体では、97.7%が「大切だと思う」と回答している。

第1-7-8表 自分や他人の命をどう思うか

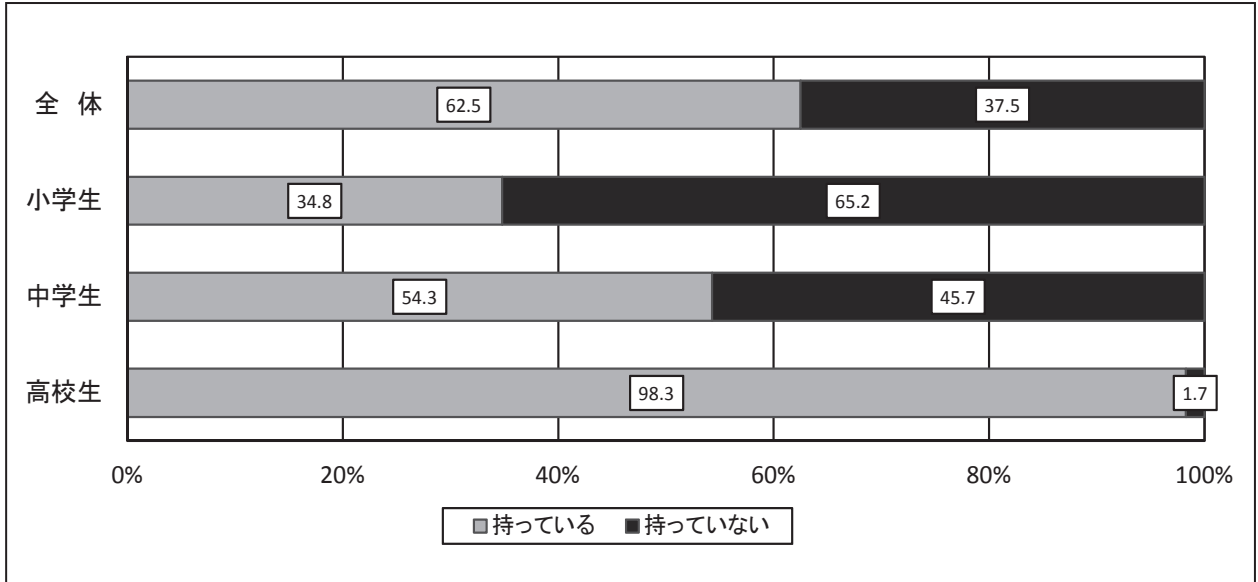


(6) メディア・コミュニケーションのこと

ア 携帯電話・スマートフォンの所有状況

携帯電話・スマートフォンを所有しているか尋ねたところ、小学生では34.8%、中学生では54.3%で、高校生では98.3%となっている。

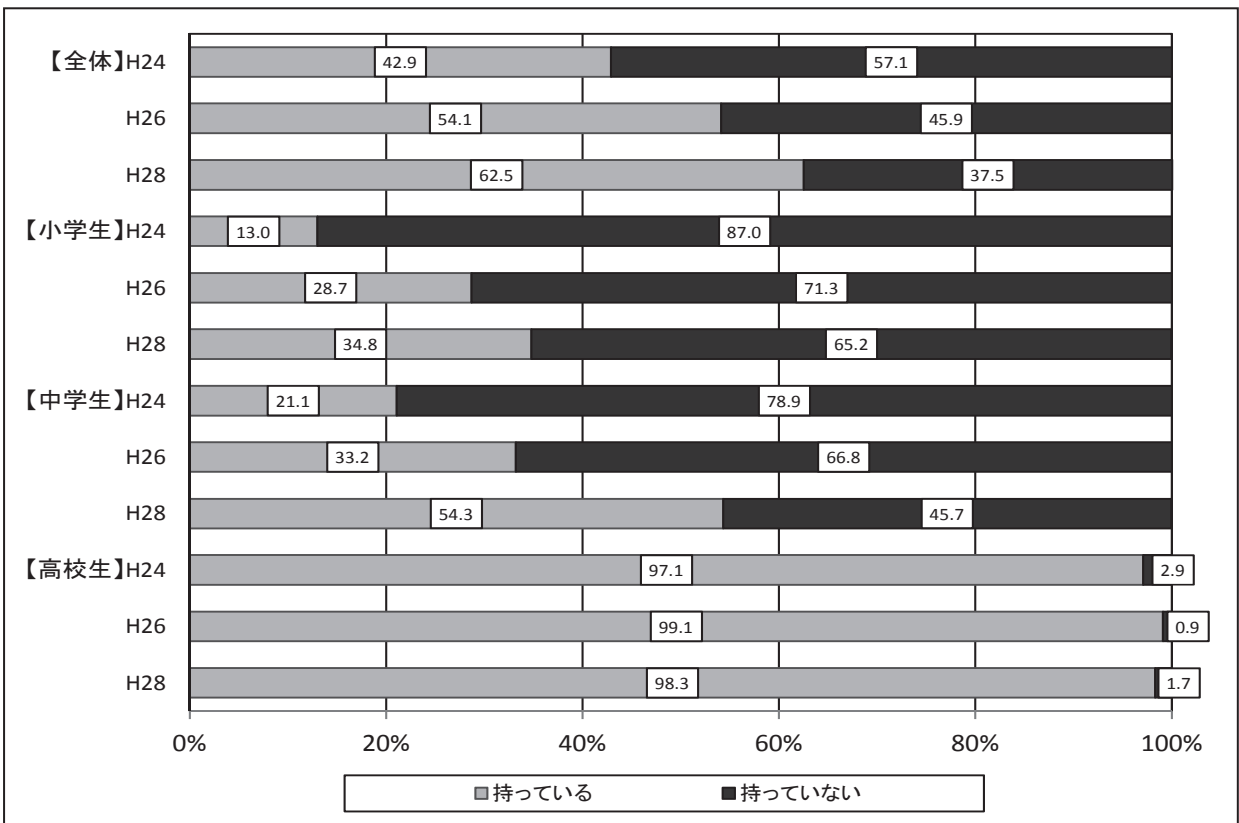
第1-7-9表 携帯電話・スマートフォンの所有状況（学校種別集計結果）



小学生の所有率は、26年度調査で28.7%であったものが28年度調査では34.8%に増えている。

また、中学生の所有率は、26年度調査で33.2%であったものが28年度調査では54.3%と、多数派になっている。

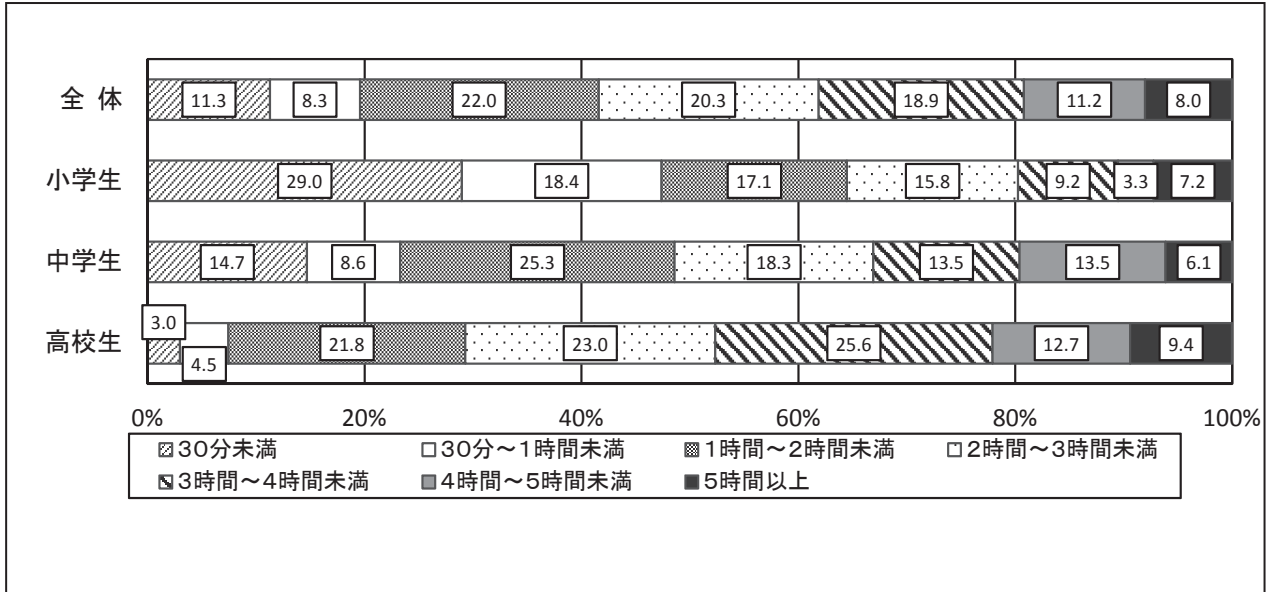
第1-7-10表 携帯電話・スマートフォンの所有状況（時系列比較）



イ 携帯電話・スマートフォンの使用時間

携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間を尋ねたところ、小学生の52.6%が1時間以上、中学生の51.4%が2時間以上、高校生生の47.7%が3時間以上となっている。また、全体の8.0%が5時間以上使用していると回答している。

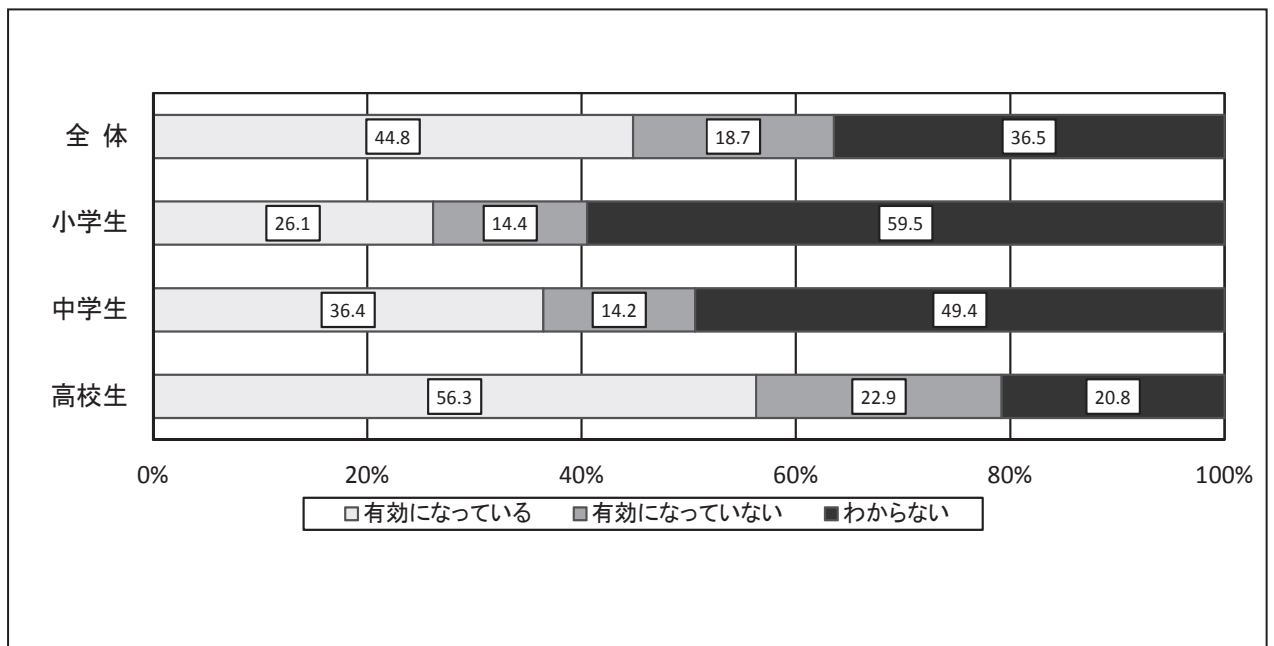
第1-7-11表 携帯電話・スマートフォンの使用時間



ウ フィルタリング機能の利用状況

使用しているスマートフォン等のフィルタリング機能について、全体では、「有効になっている」が44.8%であるが、「有効になっていない」が18.7%となっている。

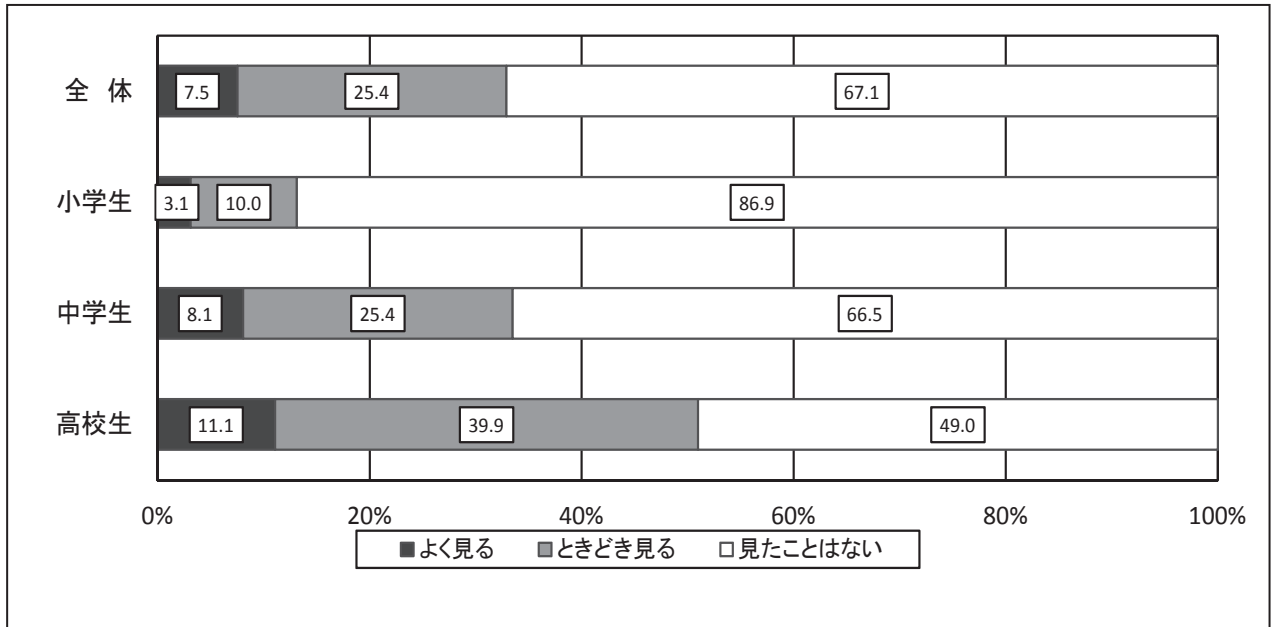
第1-7-12表 フィルタリング機能の利用状況



エ 悪口やいじめにつながる書き込みへの認知状況

スマートフォン等で悪口やいじめにつながる書き込みを見たことがあるかどうか尋ねたところ、全体では、32.9%が「見たことがある」と回答している。

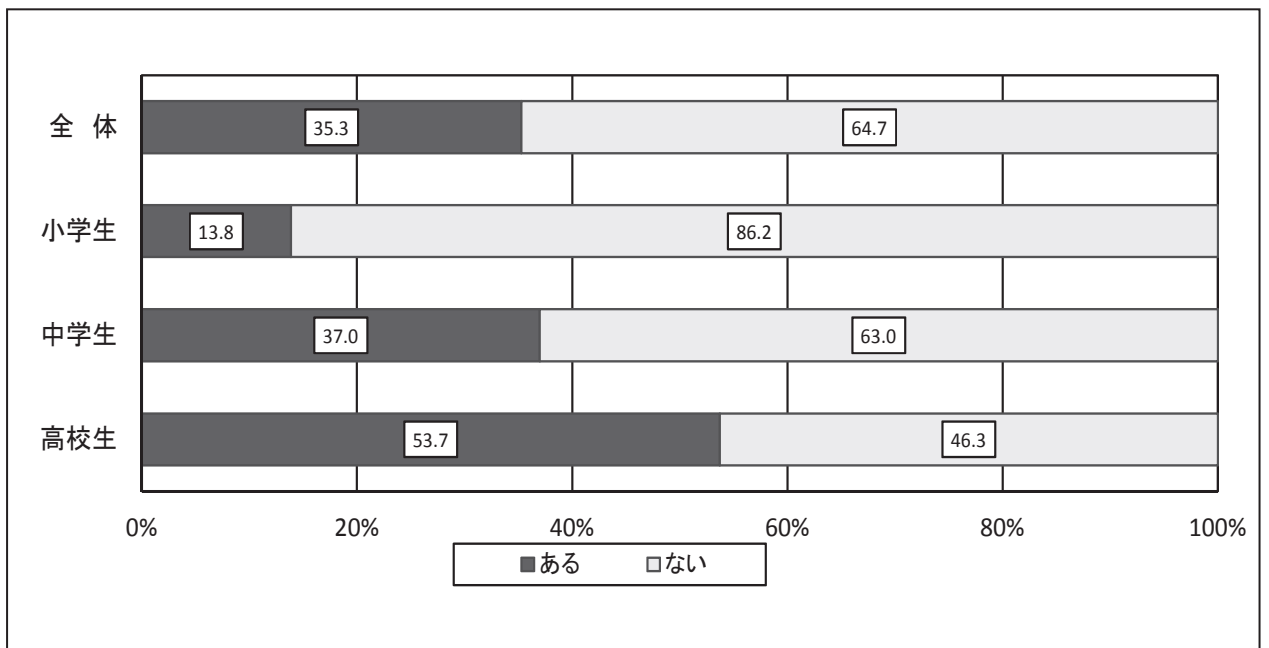
第1-7-13表 悪口やいじめにつながる書き込みへの認知状況



オ インターネットで知り合った人とのメールなどのやりとり

インターネットで知り合った人と電話やメールなどのやりとりをしたことがあるか尋ねたところ、全体では35.3%が「ある」と回答している。また、高校生では53.7%が「ある」と回答している。

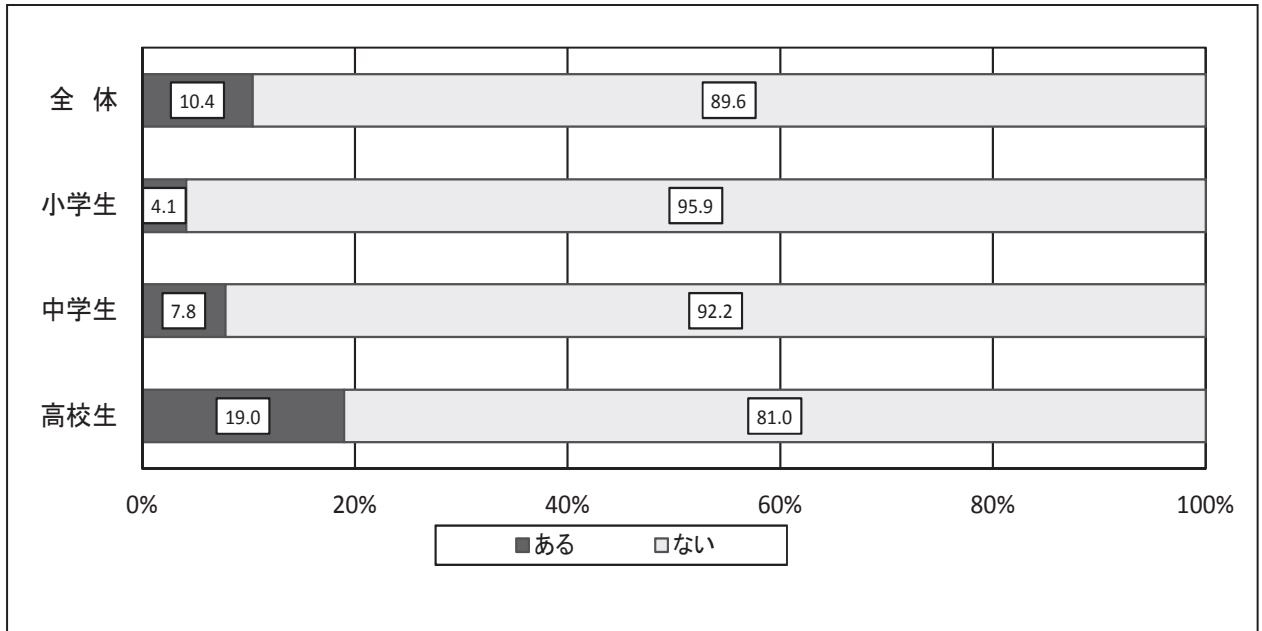
第1-7-14表 インターネットで知り合った人とのメールなどのやりとり



カ インターネットで知り合った人と実際に会う

インターネットで知り合った人と実際に会ったことがあるか尋ねたところ、全体では10.4%が「ある」と回答している。また、高校生では19.0%が「ある」と回答している。

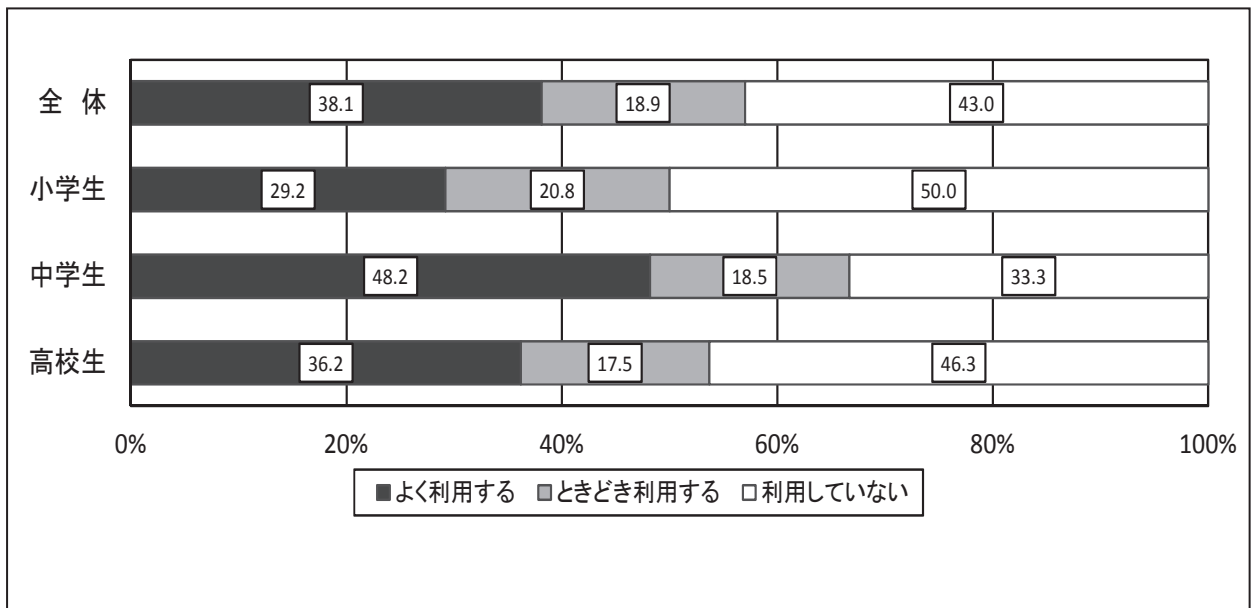
第1-7-15表 インターネットで知り合った人と実際に会う



キ ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを使ったインターネット・LINE等の利用状況

ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを使って、インターネットやLINEなどを利用しているかどうか尋ねたところ、全体では、57.0%が「利用したことがある」と回答している。

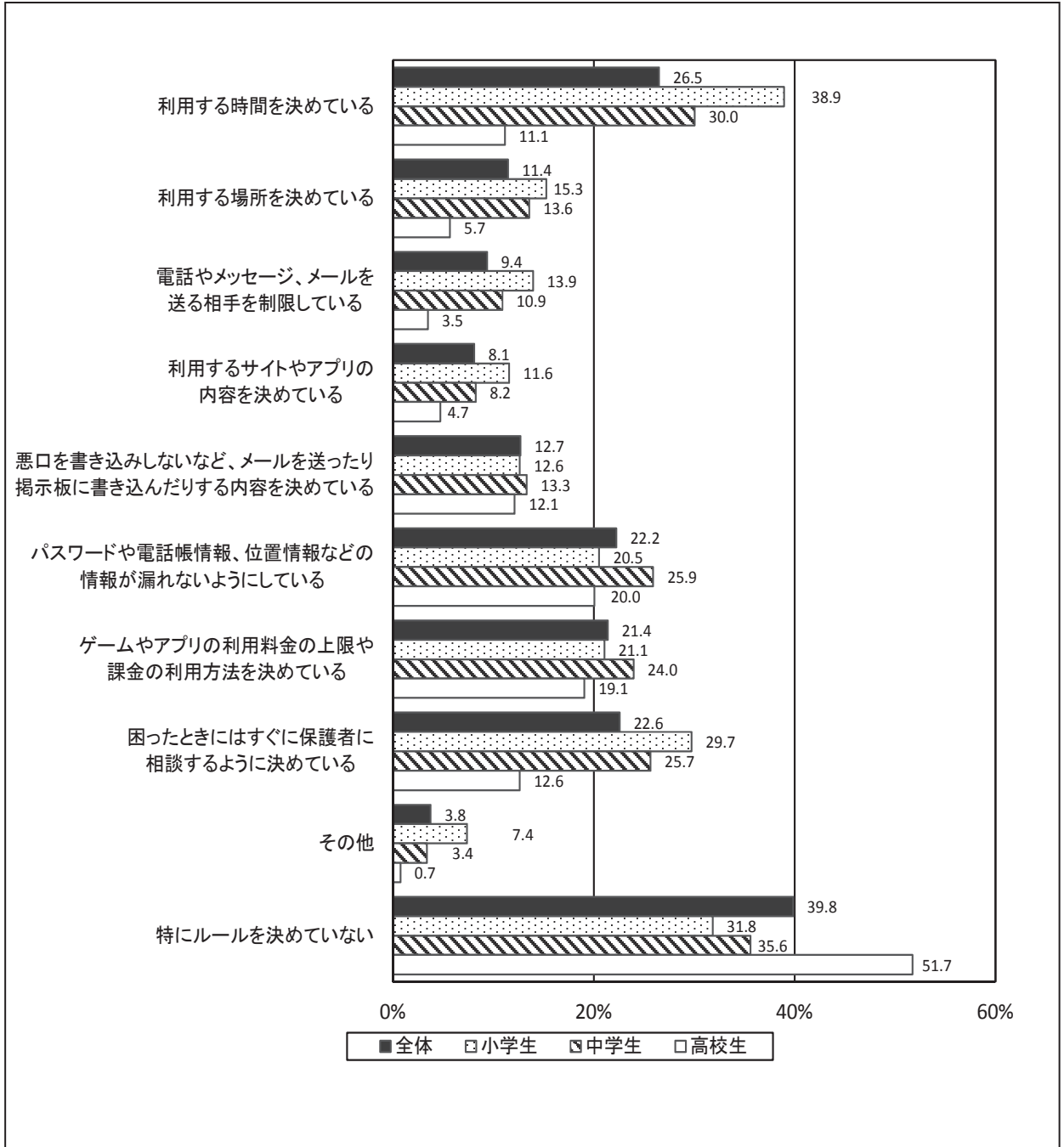
第1-7-16表 ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを使ったインターネット・LINE等の利用状況



ク 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの家庭での使い方ルール

スマートフォン等の使い方の家庭でのルールを尋ねたところ、小学生では31.8%が、中学生では35.6%が、高校生では51.7%が「特にルールを決めていない」と回答している。

第1-7-17表 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの家庭での使い方ルール

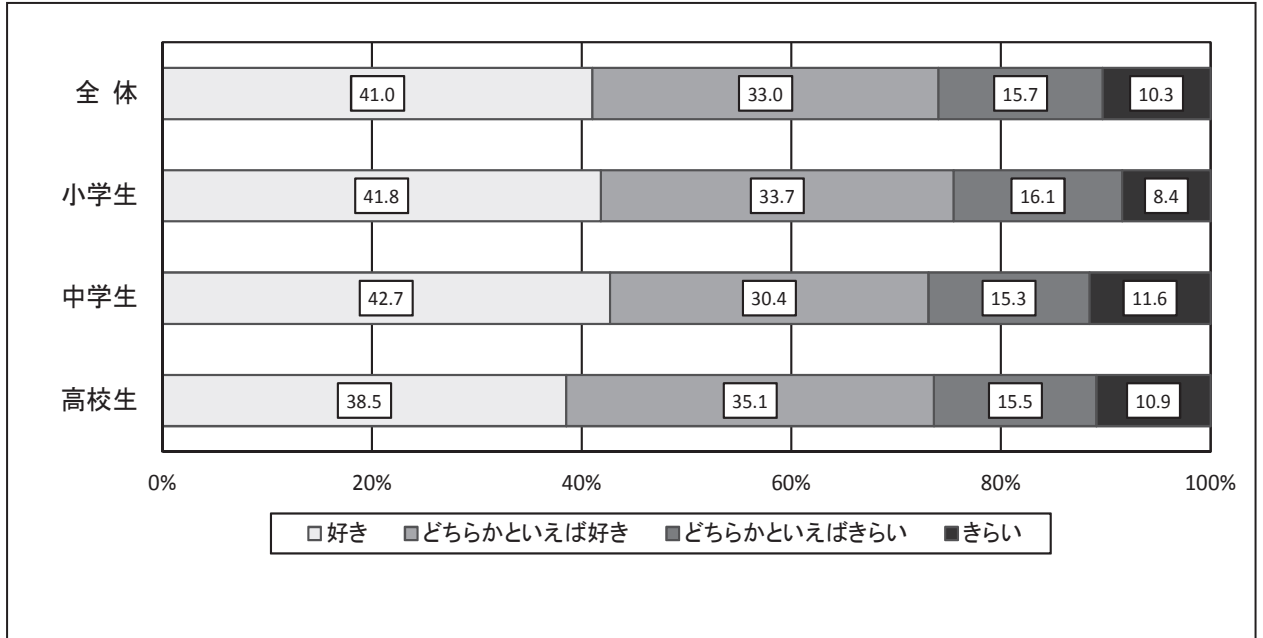


(7) 読書のこと

ア 読書への評価

読書が好きかどうか尋ねたところ、全体では、74.0%が「好き」と回答している。

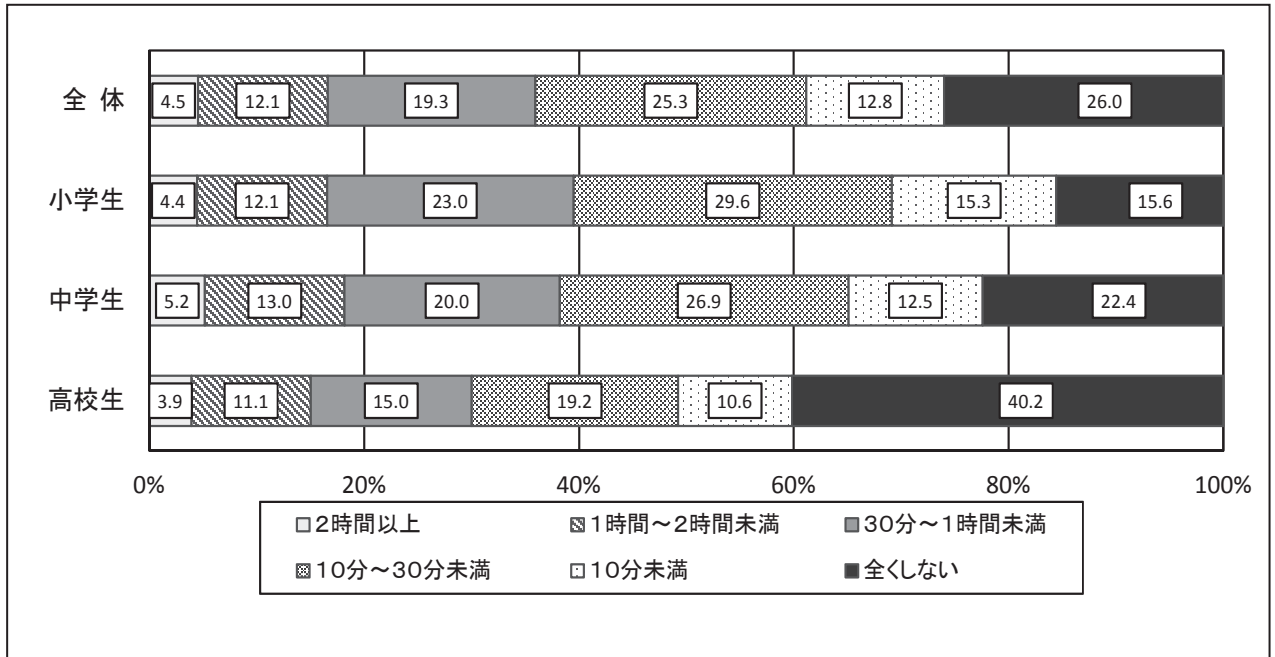
第1-7-18表 読書への評価



イ 1日の読書時間

1日の読書時間を尋ねたところ、全体では、16.6%が1時間以上読書をしている一方で、26.0%は「全くしない」と回答している。また、高校生では、「全くしない」が40.2%となっている。

第1-7-19表 1日の読書時間

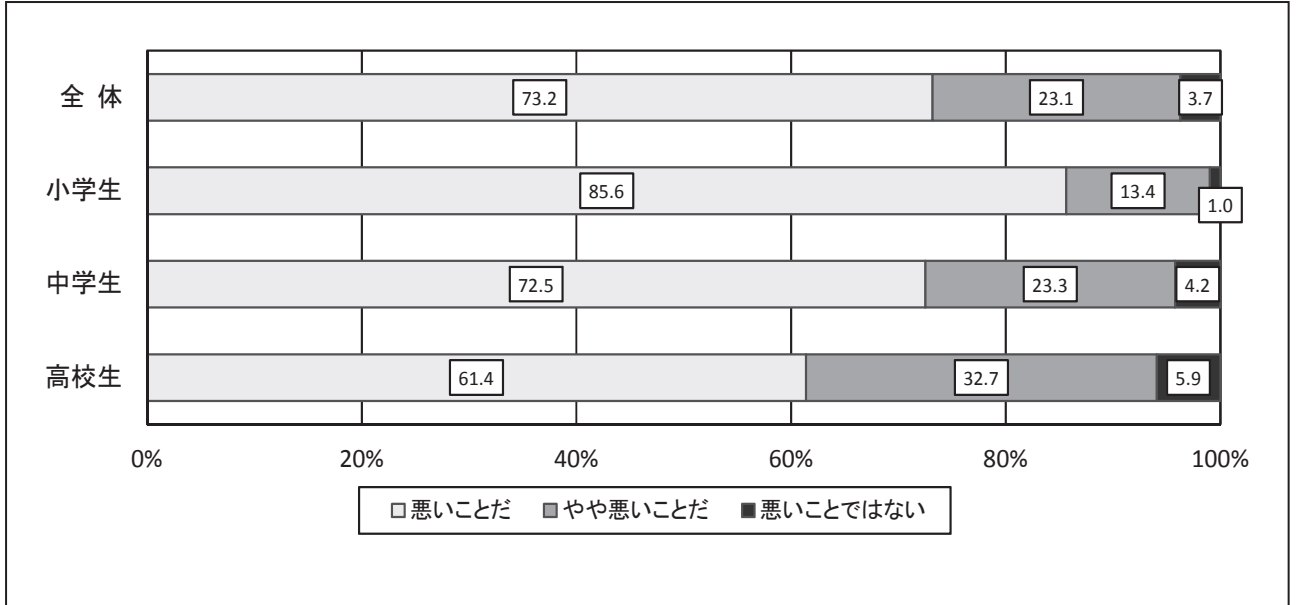


(8) 生活規範に対する意識

ア 生活規範に対する意識（自転車の二人乗り等）

自転車の二人乗りやながら自転車運転について尋ねたところ、全体では、96.3%が「悪いことだ」と回答している。

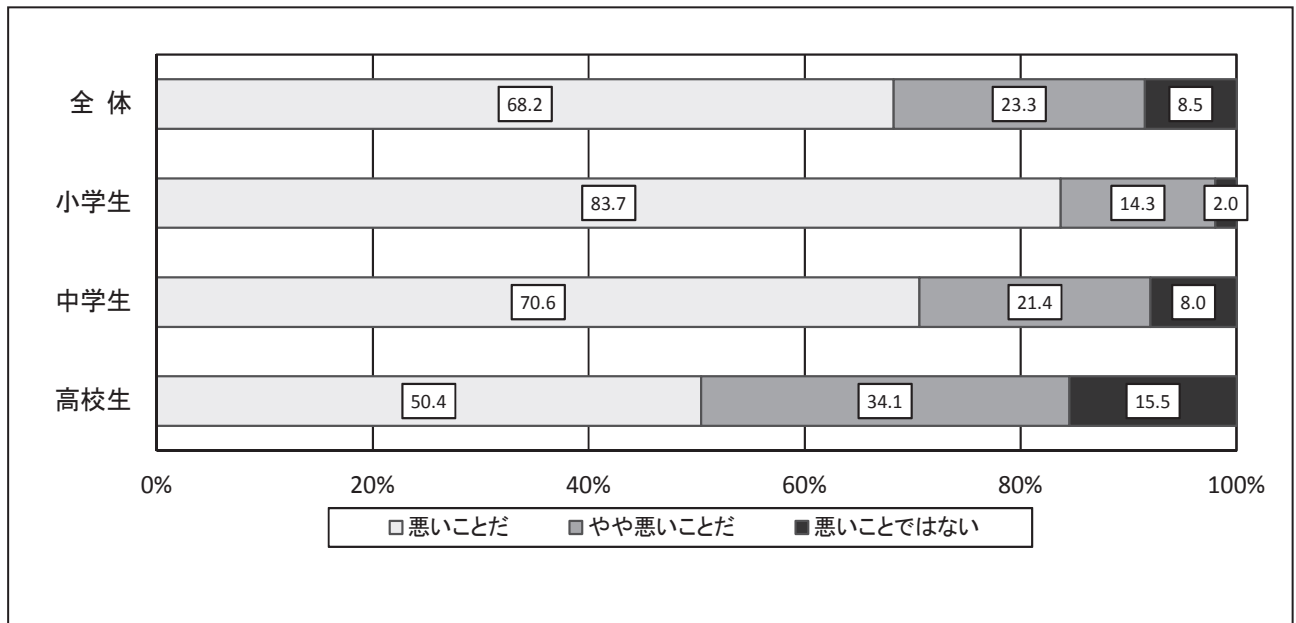
第1-7-20表 生活規範に対する意識（自転車の二人乗り等）



イ 生活規範に対する意識（面識のない人への個人情報提供）

自分のプロフィールや写真を直接あったことのない相手と交換することについて尋ねたところ、全体では、91.5%が「悪いことだ」と回答している。

第1-7-21表 生活規範に対する意識（面識のない人への個人情報提供）

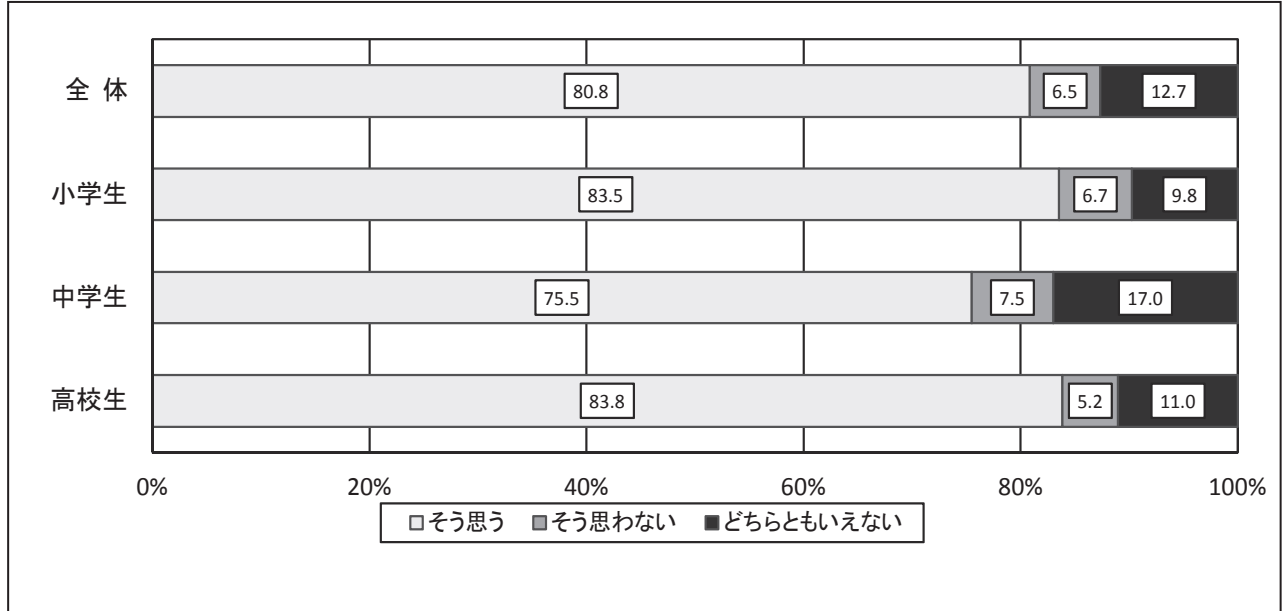


(9) 社会変化に対する意識

ア 社会変化に対する意識（男性、女性の区別なく、ともに家事や育児や介護をするのは当然だ）

男性、女性の区別なく、家事や育児や介護をするべきかどうか尋ねたところ、全体では、80.8%が「そう思う」と回答している。

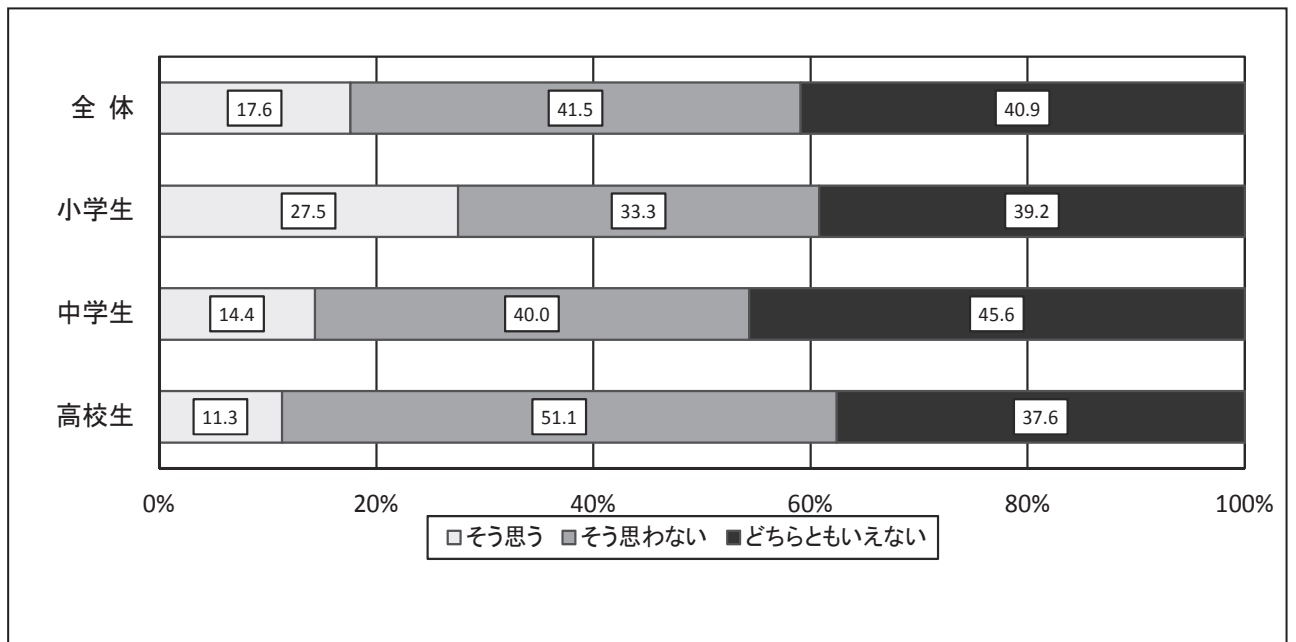
第1-7-22表 社会変化に対する意識（1）



イ 社会変化に対する意識（いま住んでいる地域に将来も住み続けるのは当然だ）

いま住んでいる地域に将来も住み続けるべきかどうか尋ねたところ、全体では、41.5%が「そう思わない」と回答している。

第1-7-23表 社会変化に対する意識（2）



(10) 就労に対する意識

将来したい仕事やつきたい職業があるかどうか尋ねたところ、全体では、75.5%が「ある」と回答している。

第1-7-24表 就労に対する意識

